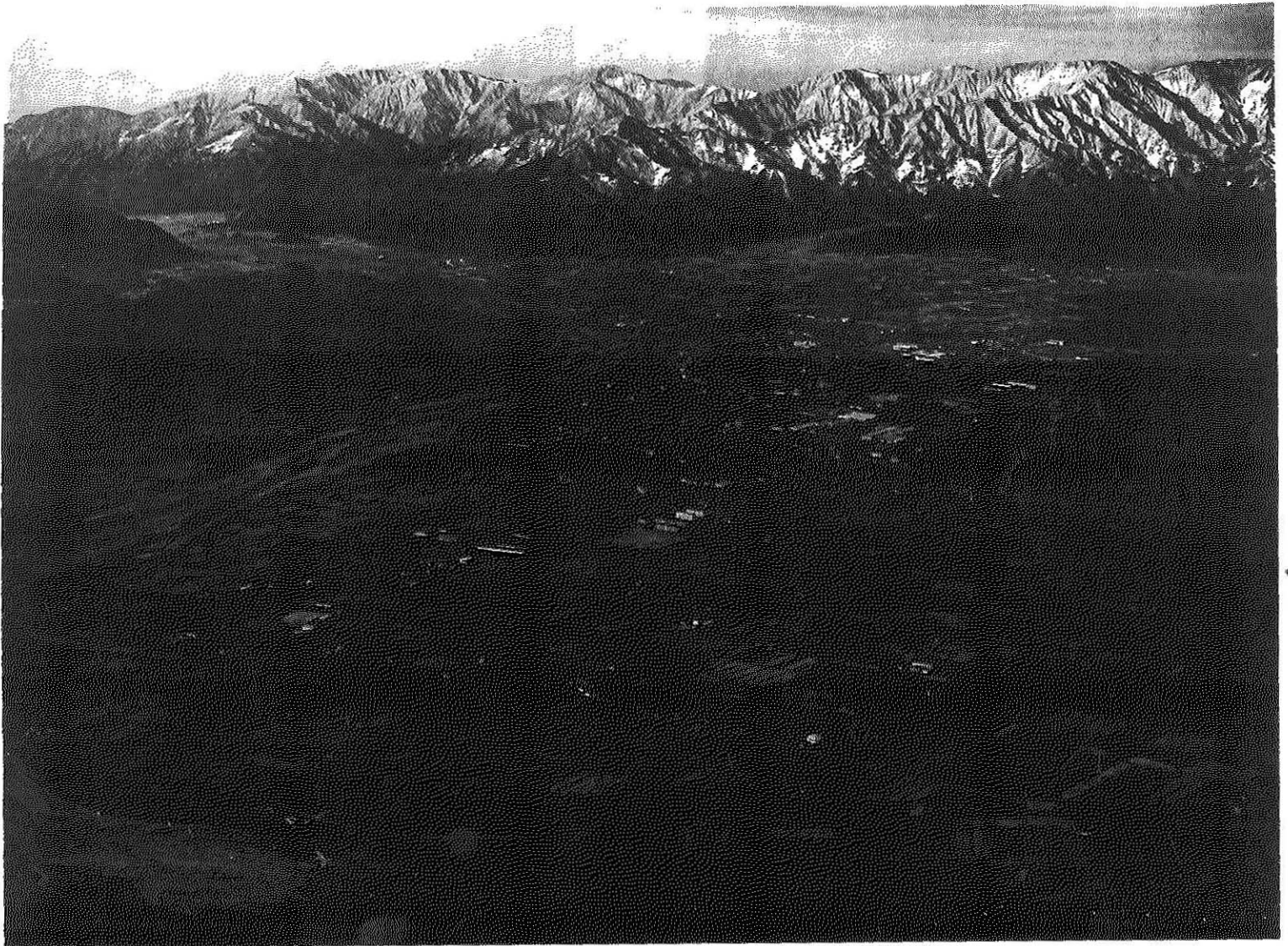


広報 かつやま

あけまして
おめでとう
ございます



ごあいさつ

勝山市長 池田勤也

市民のみなさん、あけましておめでとうございます。ご家族そろいでお健やかに新年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

私たちの郷土、勝山市も市制施行二十五周年の記念すべき年でもあり、市勢が市民のみなさんのご理解とご協力により、順調に伸展しておりますことに対し、改めて厚くお礼申し上げます。昨年同様、昨年はわが国の政治、経済両面において激動の一年でありました。異常なまでの円高は織維をはじめとする構造的な不況業種に大きな影響をもたらし、企業倒産、企業縮小、雇用不安など国民的諸問題を残し、政府の公共事業による景気浮揚策もその実を挙げることができず、経済成長率も目標達成を果せない結果に終わってしまいました。そうした中で政権が変わり年明けとなったのでありまして、一方明るい面としては念願の日中平和友好条約が締結され、わが国の歴史に新しい一ページを加えたことは、国民にとって大きな喜びであったと思います。大平新政権誕生によって経済情勢が一挙に好転するということも期待できず、地方自治体にとってもやはり多難な年といわねばなりません。

私は市政の基本を福祉の充実、産業の振興、教育の向上、生活環境の整備において、財政の健全化を図りながら、市街地と農村部の均等化を目指し、市全体にわたって調和のとれたレベルアップに力を入れ、若い人に魅力のある郷土づくりを進めたいと考えております。許される財源の中でどのような施策を行うことが、住民のニーズに最も適合するか、他の施策との調和の中で何を優先させるべきか、そして常に時代の変化に即応するために何をなすべきかを判断して行政を行うのが肝要であります。そのために、私は市民の声を聞き、市民の切実なる関心ごとがそのまま勝山市政の最優先の課題となるように努めたいと思います。

任期も後半に入り、初心にかえり郷土勝山の発展にたゆまぬ努力を傾注いたしていく覚悟でございます。市民のみなさんがより健康で活躍されることを祈念いたしますとともに市政に対し、あたたかいご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

ごあいさつ

市議会議長 島田實也

あけましておめでとうございます。ご一家おそろいで輝かしい新年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

昨年は、日中平和友好条約の締結、新内閣の発足をみるなど、内外の諸情勢の変転まことにめまぐるしく、一方、わが国の経済界は、不況の長期化、円高などによりまして、かつて経験したことのない苦しい経済環境下にあったわけでございます。従いまして、自治体におきましても極めてきびしい行財政運営を余儀なくされたのでございますが、市民のみなさん方の深いご理解とご協力によりまして、市勢の一層の伸展をみることもできました。また、この一年、同慶にたえない次第でございます。

さて、新しい年の幕あけは、文字どおり前途多難でございます。政治経済の両面はもとより、あらゆる面におきまして低成長経済期に即した新たな選択と対応を迫られ、地方自治体の行財政運営におきましてもきびしい試練にさらされることは必至といわざるを得ないのでございます。

新年を迎えるにあたり、私どもは、かような時代的認識と決意をさらに新たにしたしまして、市民のみなさん方の創意と活力の結果のもと市政の諸問題に真剣に取り組み、市勢の伸展と住民福祉の充実にまい進する所存でございます。とりわけ、地方自治行政におきまして最も重要な課題は、財源の確保と効率化であり、健全かつ合理的な財政運営を期することでございます。

私ども市議会は、執行機関と一体となってこれが実現にあたることを固くお誓いするものでございます。どうか市民のみなさん方におかれましても市政の運営に對しまして、より一層のご理解とご協力を賜わり、明るく住みよい勝山市の建設にお力添えいただきますようお願いいたします。ご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

育英資金さらに5,000万円

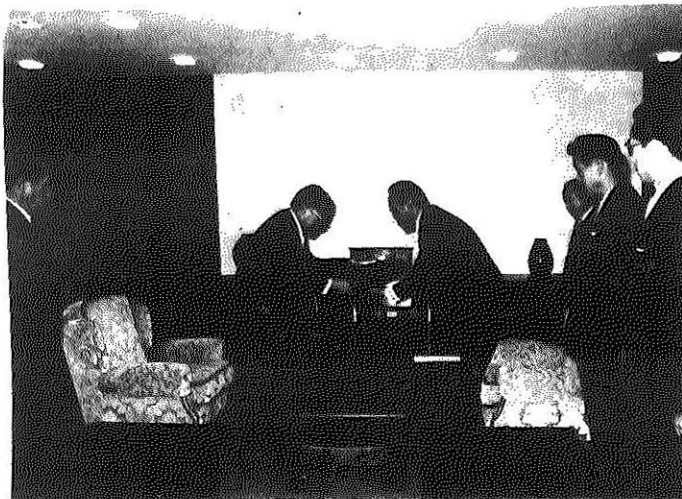
多田相互タクシー社長が本市へ

教育福祉会館の建設費三億五千万円を寄付された大阪相互タクシー株式会社社長多田清社長(左)が、本市開町一丁目、荒土町新保出身(名譽市民)から十二月九日、勝山市に対して育英資金に五千万円の寄付がありました。

五十一年十月の教育福祉会館落成式の際多田社長は、郷土の人材養成にと育英資金一億円を本市に寄付され、さらに昨年十一月二十八日に五千万円を寄贈したこととして計二億円が青少年の育英資金として教育に役立てられることになりました。

これまであった市の育英資金は、金額、ワクとも限られておりましたが、多田育英資金が設けられて以来、ワクも三倍以上となり、金額も二倍以上に増額されて、利用する人たちが大変喜ばれています。

この日は多田社長がご都合が悪く来場できないため、代って



真野専務(左)から育英資金の贈呈を受ける池田市長

四十二人が勉強しています

同社真野平八郎専務ら四人の役員がおいでになり、教育福祉会館特別室で現金五千万円を贈呈されました。池田市長は「これまで大学院生から高校生まで四十二人の青少年が多田育英資金で勉強しており、多田社長の篤志を肝にめいじて今後も勉強を励み、社会に役立つ人材となることを信じています」と感謝の言葉を述べました。市は同資金の利息分を教育に役立てますが、来年度からはさらに対象ワクが拡げられることになりました。また、これにありがとうございました。



消防車を購入

初のジーゼル車

市は十二月十一日新しく普通消防自動車一台を購入、入魂式を行い市消防署に配備しました。購入した消防車は本市では初めての「C.D.II型いすゞキャブオーバー」百五十馬力のジーゼルエンジンを搭載、ポンプは高圧二段バランスタービンポンプ性能は国家検定A2級、運転台はこれまでの消防車とは違いドア付きで定員七人です。価格は八百五十万円。

同署の消防車は五台となり消防力が強化されました。

423人

社会人として新しいスタート

1月15日は成人の日

一月十五日は「成人の日」。ことしは昭和三十三年に生まれた男子八十一万人、女子七十七万人が全国で晴れやかに成人式を迎えます。勝山市では男子百八十六人、女子二百三十七人が社会人として新しくスタートします。

昭和二十三年に制定されたこの「国民の祝日」も、ことしで三十一回目。社会への「門出」を祝う「成人式」は、おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます行事として定着してきました。

この機会にあらためて「成人の日」の意義を見直したいもの

公立保育所

入所申し込み 受付中!

福祉事務所では、昭和五十四年度の公立保育所の入所児童の申し込みを次の要領で受け付けています。入所希望の方は教育福祉会館一階福祉事務所へ、申し込んでください。

- ① 入所申請書 福祉事務所にあります。
 - ② 住民票謄本 子どもの属する家族。
 - ③ 源泉徴収票 子どもからみて、父母、祖父母に当たる人で給所得者について、昭和五十三年度分。
 - ④ 確定申告書の写し 確定申告をされたから提出してください。
- 【申し込み期限】
昭和五十四年二月二十八日まで
- 【注意事項】
入所希望者が定員に余裕がない場合は、他の園に回ってもらう場合があります。

幼稚園児募集!!

受付は1月9日から20日正午まで

市教育委員会は次の要領で昭和五十四年度の市立幼稚園の入園希望者を募集します。早目に申し込んでください。

【対象児】
小学校入学前一年の幼児、ただし定員に満たない時は入学前二カ年ないし三カ年の幼児も対象とします

【入園の許可】
幼児の入園は幼稚園長が許可します。

【通園区および申し込み先】

い時は、他の園に回ってもらう場合があります。



11月消費生活モニター生活関連物資小売価格調査結果表

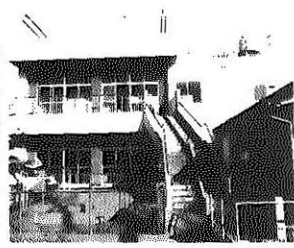
調査品目	平均	市平均	県平均	対前年同月
砂糖	255	234	221	
化学調味料	247	-	237	
小麦粉	169	-	168	
みそ	329	302	297	
大豆油	523	578	577	
サラダ油	543	-	628	
しょう油	437	442	444	
バター	331	343	323	
マヨネーズ	206	-	-	
鶏卵	189	195	217	
牛肉	281	301	-	
豚肉	173	177	-	
合成洗剤	722	719	732	
ぬみがき	233	-	234	
ちり紙	207	-	231	
トイレペーパー	130	143	129	
白灯油	662	658	734	
フロハングス	1,682	1,676	-	

増築で定員が 百二十人に

社会福祉法人「しろき保育園(山内秋雄理事長)」が芳野町二丁目には、地域の都市化に伴い保育希望者が増加したため、定員を増やして百二十人に増やします。

しろき保育園

同園の定員増により地域の方々から大きな期待が寄せられています。写真は増築されたしろき保育園



善意続々

善意銀行に預託者(敬称略) (五十二年一月から十一月) 〇藤沢一井(向町) 一万五千四百円、〇仏教婦人会(福井市) 一万四千八百円、〇松浦とし(立川町) 一万二千二百円、〇戸田徳(本町四) 五千五百円、〇別段義男(平泉寺町) 千五百円、〇藤木長兵衛(猪野口) 十万円、〇藤下健治(元町) 四万九千八百円、〇第一三光会老人クラブ 一万五千元、〇竹田栄(本町一) 二千六百円、〇北陸製薬 二万円、〇セレン平泉工場 二万円、〇谷口重隆(荒土町) 五千五百二十五円、〇四葉会 八千四百四十八円、〇山口助信(平泉寺町) 二千元、〇白崎慎二(沢町) 三千元、〇勝山高校三年一組 二万六千九百六円、〇野田裕子(本町二) 三千元、〇川上善右衛門(栄町三) 三万円、〇本町通り商店街振興会 三万二千元、〇宮本守(元町) 千五百円、〇南中J.R.C 一万三千五百七十六円。 ありがとうございました。